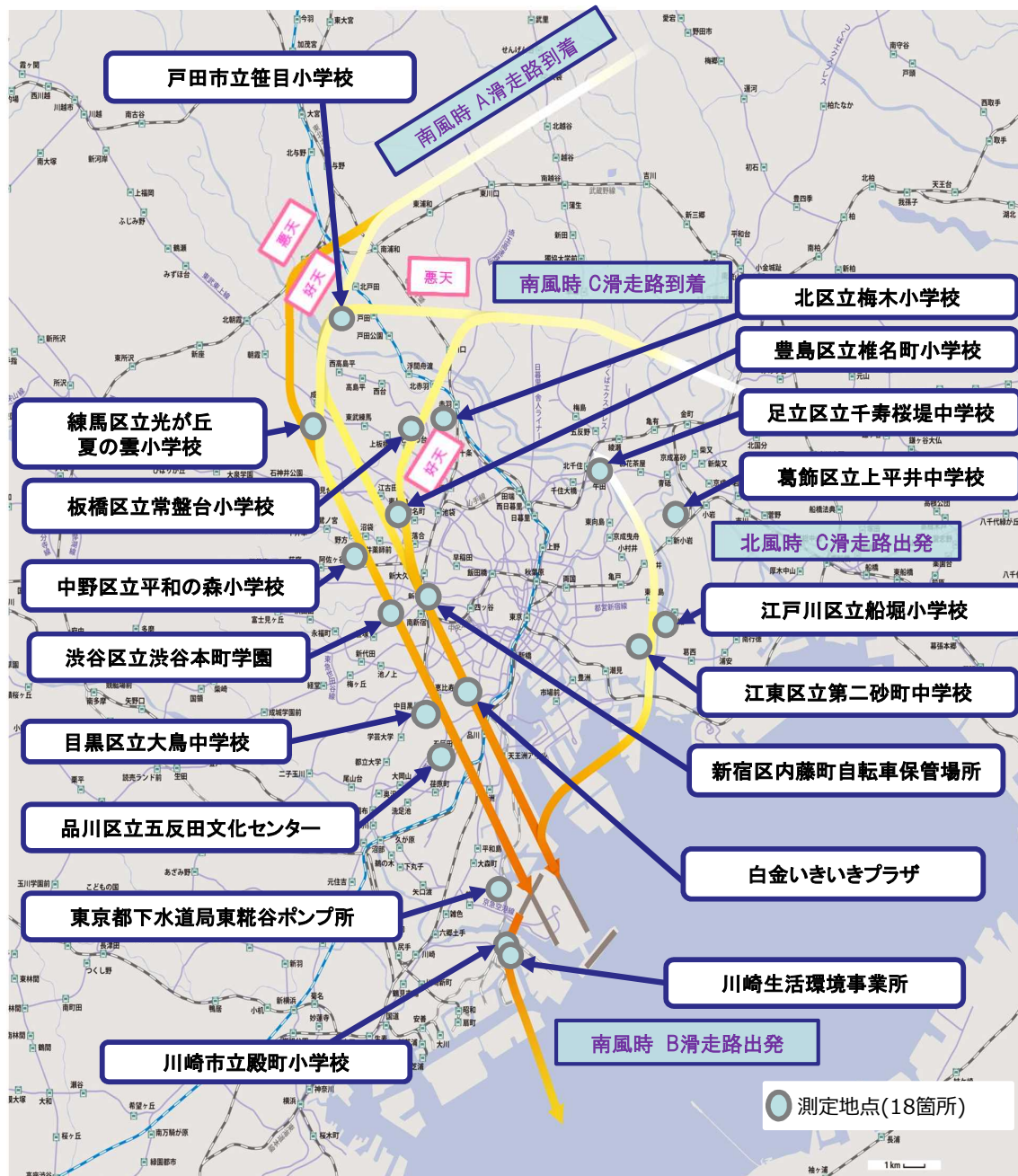


## 航空機騒音の短期測定結果(2022年12月実施)

---

# 航空機騒音の短期測定(2022年12月実施)について



➤ 航空機騒音の発生状況のきめ細かな把握のため、固定騒音測定局での測定に加えて、左図の地点（東京都15箇所、神奈川県2箇所、埼玉県1箇所）において12月14日から20日まで1週間にわたって航空機騒音の測定を実施。

※ 足立区千寿桜堤中学校における測定において、測定機器の不具合が発生し、12月18日及び19日において欠測が生じたことから、12月13日及び21日における測定データを使用している。

## 【測定期間中の運用状況】

・北風新飛行経路

12月14、15、16、17、18、19、20日  
C離陸 604機

・南風新飛行経路

12月17日  
A着陸 16機、C着陸 40機、B離陸 29機

➤ 各測定地点における測定結果は次ページのとおり。機体サイズ別の実測値の平均と、住民説明会等でお示した推計平均値を比較したところ、約87%は推計平均値と同等又はそれ以下という結果となった。

# 測定地点ごとの実測値の平均と推計平均値の比較

実測値の平均と推計平均値を比較すると、**同等:33地点(81%)**、**推計平均値以上:5地点(12%)**、**推計平均値以下:3地点(7%)**

※実測値:各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値

※「実測値の平均」の小数点を切り上げて、「推計平均値」と比較   推計平均値以上   推計平均値以下

単位:dB

測定地点	大型機		中型機		小型機	
	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1
船堀小学校(江戸川区)【C離陸】	67.8	74~68	63.9	73~61	65.2	71~65
第二砂町中学校(江東区)【C離陸】	67.9	77~68	64.9	76~61	66.2	74~65
上平井中学校(葛飾区)【C離陸】	64.1	—	61.0	—	62.2	—
千寿桜堤中学校(足立区)【C離陸】	66.3	—	64.3	—	64.5	—
殿町小学校(川崎市)【B離陸】	81.6	91~76	78.5	—	77.8	86~72
川崎生活環境事業所(川崎市)【B離陸】	81.4 ▲4	91~86	79.8	—	79.5 ▲1	86~81
東京都下水道局東糀谷ポンプ所(大田区)【B離陸】	70.9	—	71.0	—	69.4	—
笹目小学校(戸田市)【A着陸】	65.2	68~65	62.9	64~58	64.6	65~56
梅木小学校(北区)【C着陸】	60.4 ▲5	68~66	59.6	64~60	59.4	65~58
常盤台小学校(板橋区)【C着陸】	67.0	68~66	63.4	64~60	64.9	65~58
光が丘夏の雲小学校(練馬区)【A着陸】	65.6	66	65.3 +3	63~60	63.4	64~58
椎名町小学校(豊島区)【C着陸】	66.5	69~67	65.7 +1	65~61	64.6	66~59
内藤町自転車保管場所(新宿区)【C着陸】	70.6	72~68	70.1 +3	68~63	67.3	69~61
平和の森小学校(中野区)【A着陸】	69.2	70~67	65.3	66~61	65.1	67~59
渋谷本町学園(渋谷区)【A着陸】	68.2	72~68	66.2	68~63	63.5	69~61
大鳥中学校(目黒区)【A着陸】	67.1	71~68	67.3	—	65.1 +1	65~60
白金いきいきプラザ(港区)【C着陸】	73.6	76~73	73.4	74~69	72.1	73~68
五反田文化センター(品川区)【A着陸】	69.5	73~68	67.5	—	66.1 +1	66~61
計 18測定地点	同等	13地点(87%)		8地点(73%)		12地点(80%)
	推計平均値以上	0地点(-)		3地点(27%)		2地点(13%)
	推計平均値以下	2地点(13%)		0地点(-)		1地点(7%)

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、各測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

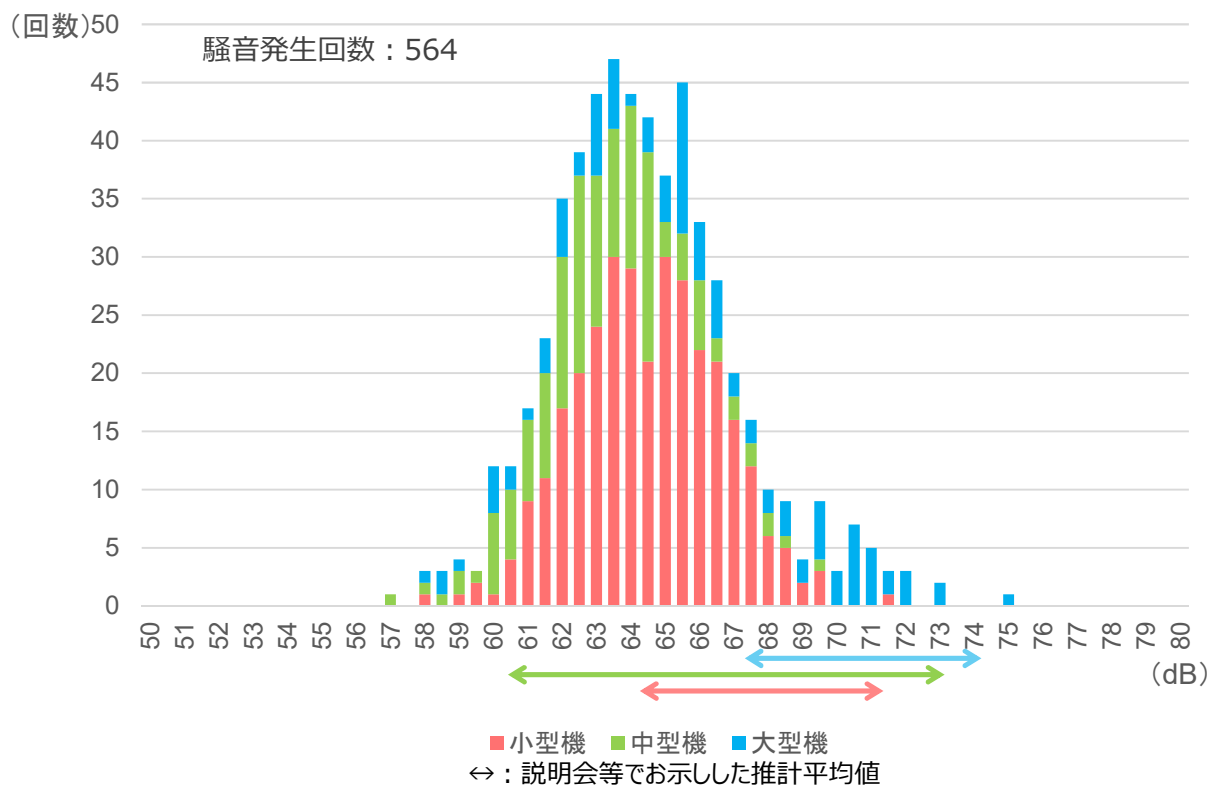
## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北向き出発経路の側方700m程度に位置する。高度約4,000ft（約1,200m）以上。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式または最適上昇方式のいずれかを実施する騒音軽減運航方式を採用している。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

単位: dB



	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	67.8	74~68
中型機	63.9	73~61
小型機	65.2	71~65
全体	65.5	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	平均
		40.6	47.6	43.8	48.7	46.3	40.7	46.3

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

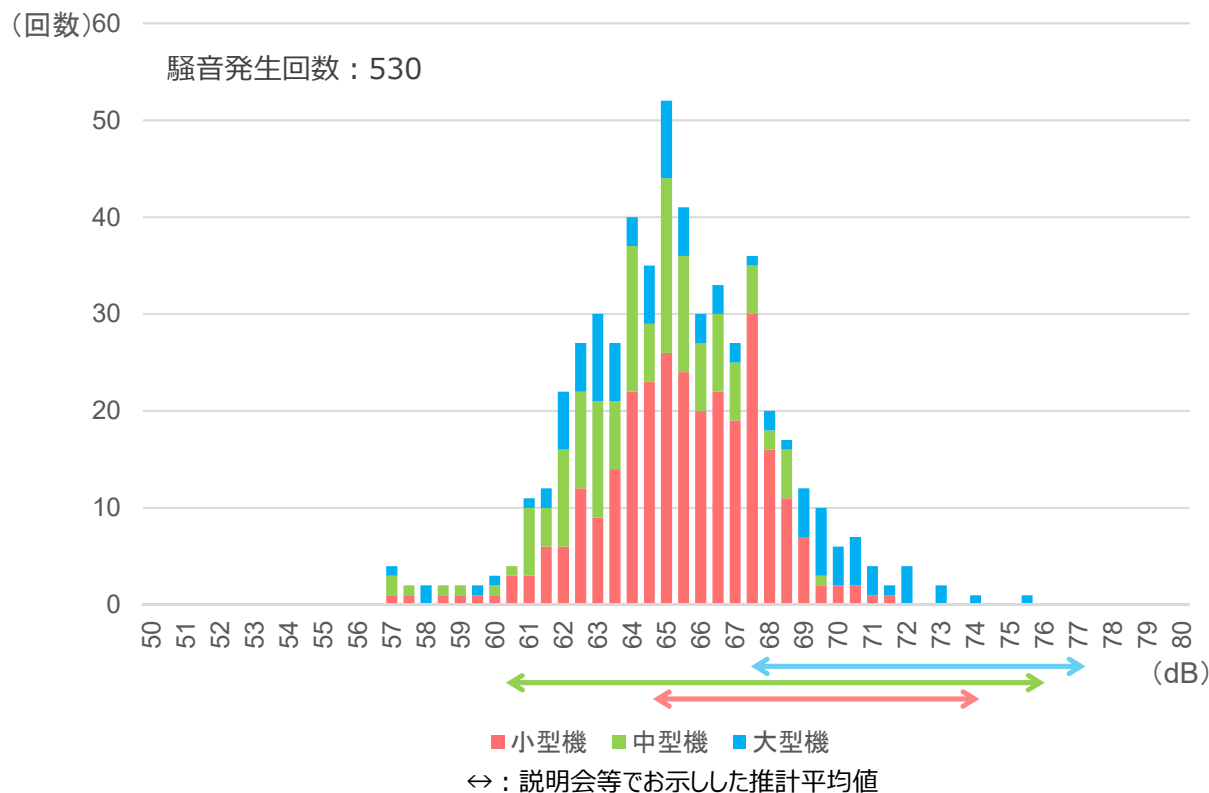
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北向き出発経路の側方1km程度に位置する。高度約3,000～6,000ft (約900～1,800m)。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式または最適上昇方式のいずれかを実施する騒音軽減運航方式を採用している。

## ○実測値の分布

実測値 (各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値)  
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値※1
大型機	67.9	77~68
中型機	64.9	76~61
小型機	66.2	74~65
全体	66.3	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden ※2	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	平均
	41.9	48.7	45.5	49.7	47.6	42.4	47.7	47.0

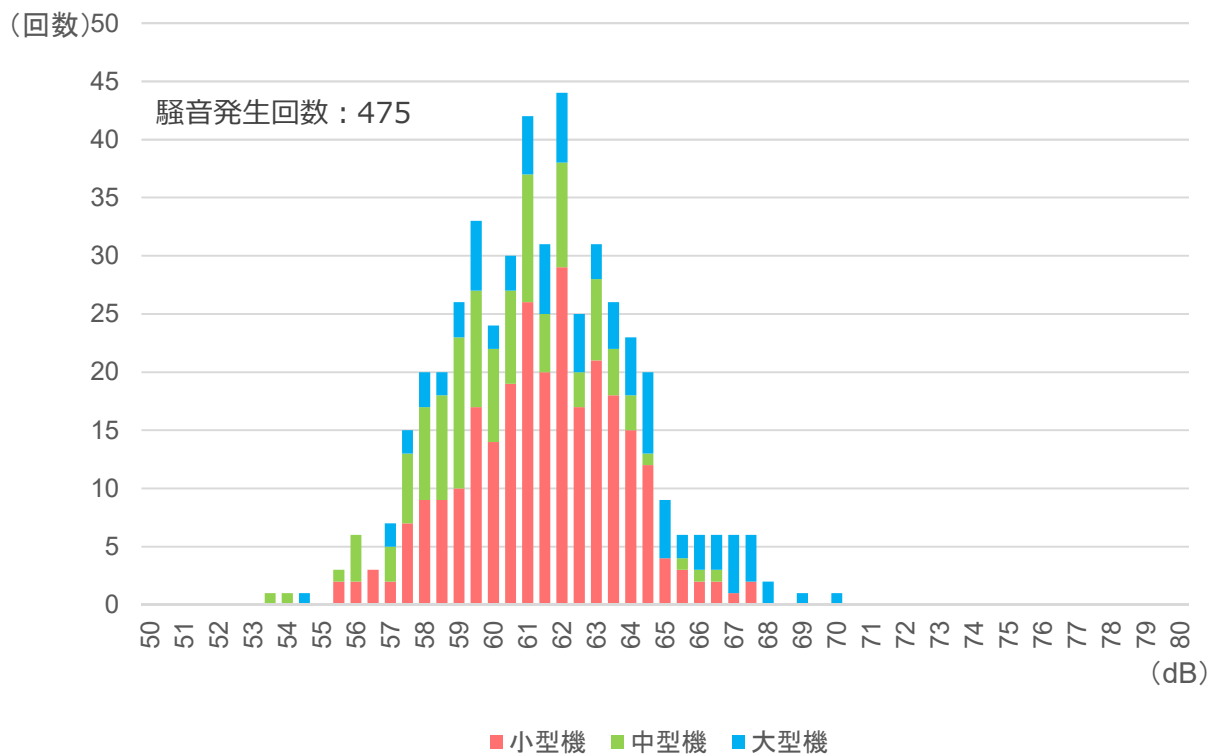
※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

- 飛行経路と測定地点の位置関係等
  - ・C滑走路北向き離陸機の音を測定

- 実測値の分布
 

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



	実測値の平均
大型機	64.1
中型機	61.0
小型機	62.2
全体	62.4

Lden ※2	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	平均
		38.6	44.8	41.8	45.5	43.3	37.9	42.2

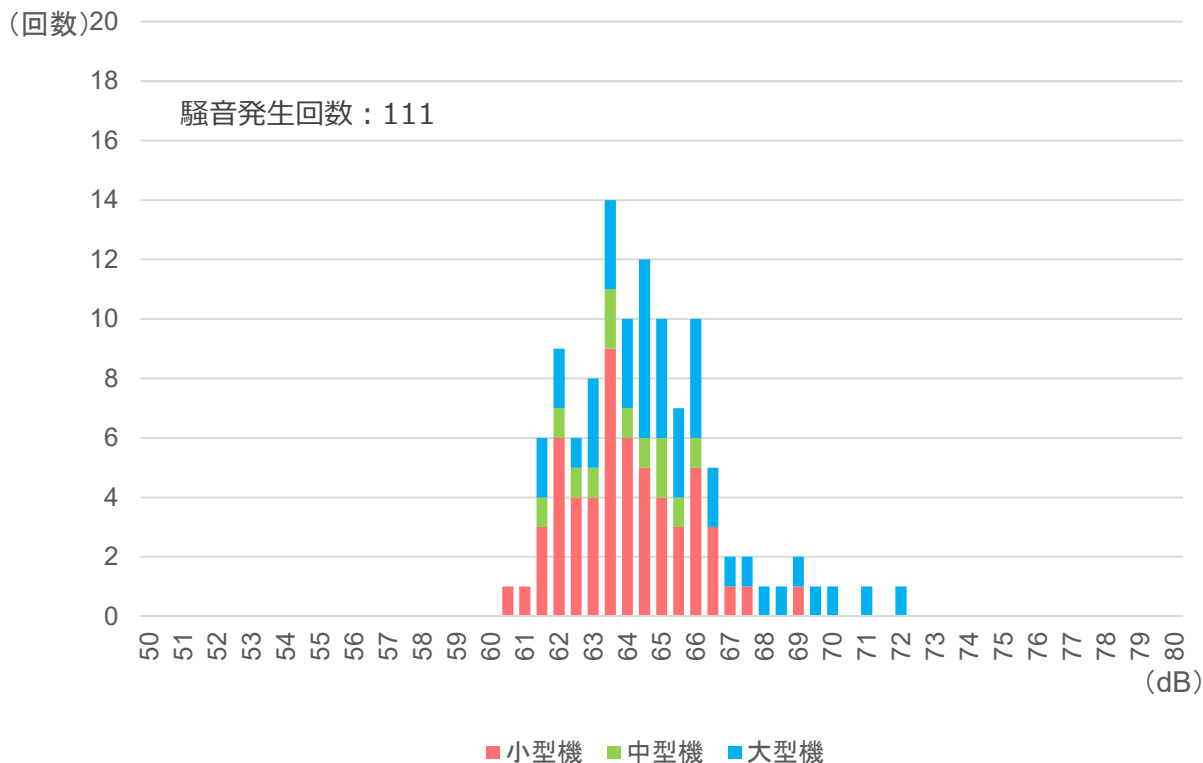
※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

- 飛行経路と測定地点の位置関係等
  - ・C滑走路北向き離陸機の音を測定

- 実測値の分布  
 実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）  
 ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

単位: dB



	実測値の平均
大型機	66.3
中型機	64.3
小型機	64.5
全体	65.3

Lden ※2	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/20	12/21	平均
	43.0	32.4	42.0	35.3	41.6	38.8	39.6	40.1

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

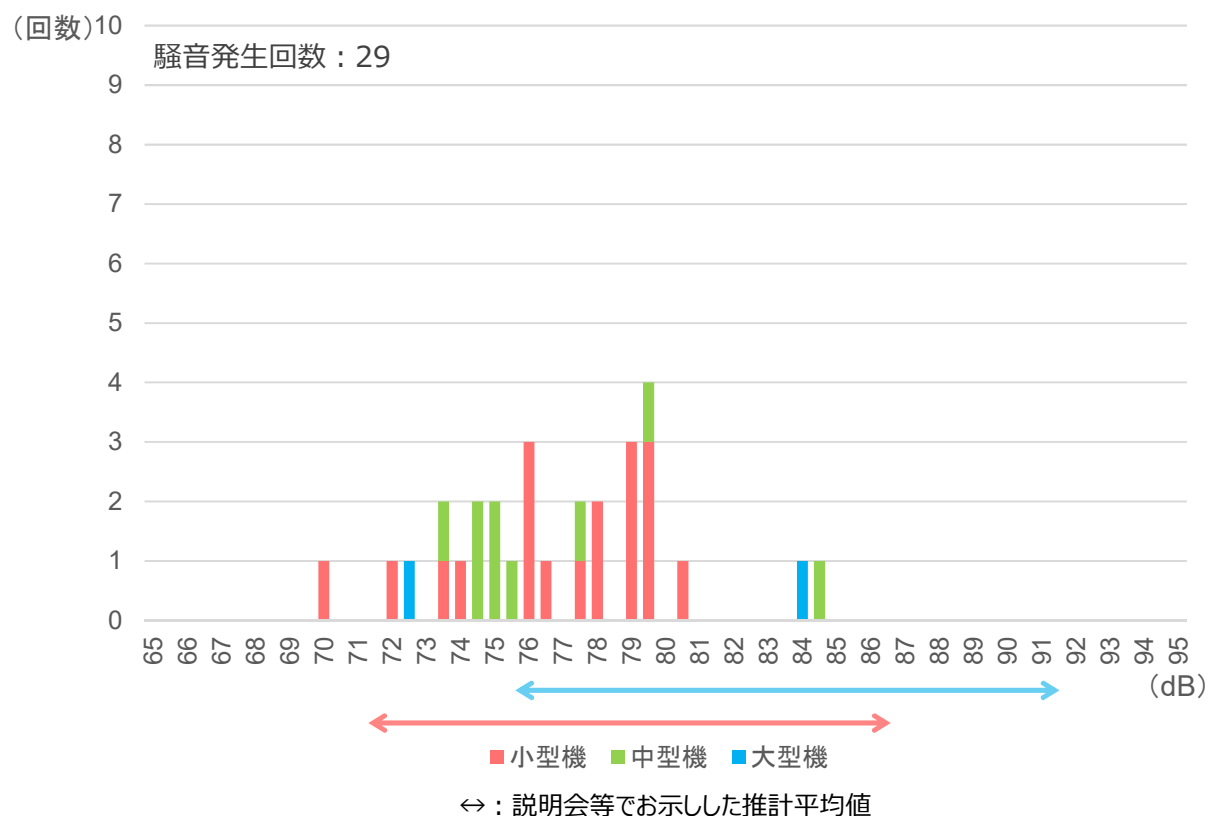
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

・B滑走路西向き出発経路の側方200m～1km程度に位置する。高度約1,000ft（約300m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	81.6	91~76
中型機	78.5	—
小型機	77.8	86~72
全体	78.4	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

<b>Lden</b> ※2	12/17	平均
	53.0	44.6

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

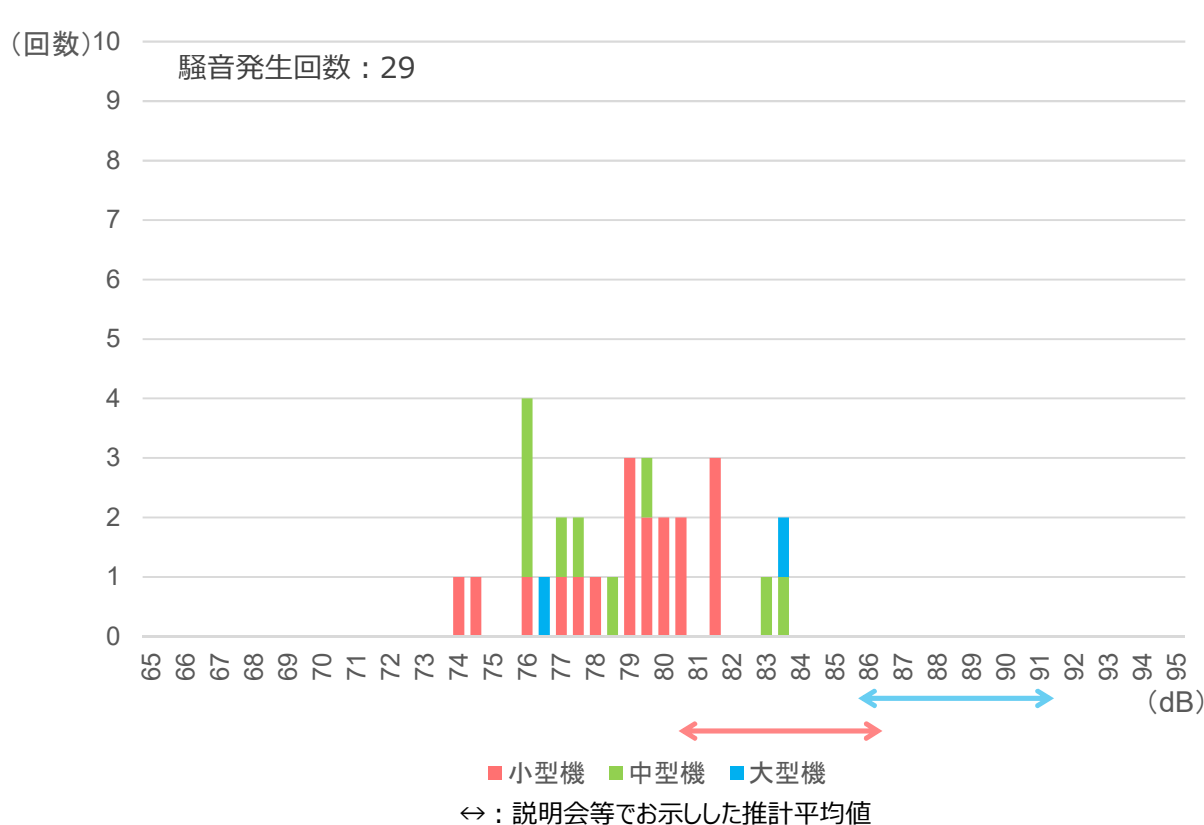


## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西向き出発経路の直下に位置する。高度約1,000～1,500ft（約300～450m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	81.4	91～86
中型機	79.8	—
小型機	79.5	86～81
全体	79.7	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	54.3	45.8

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

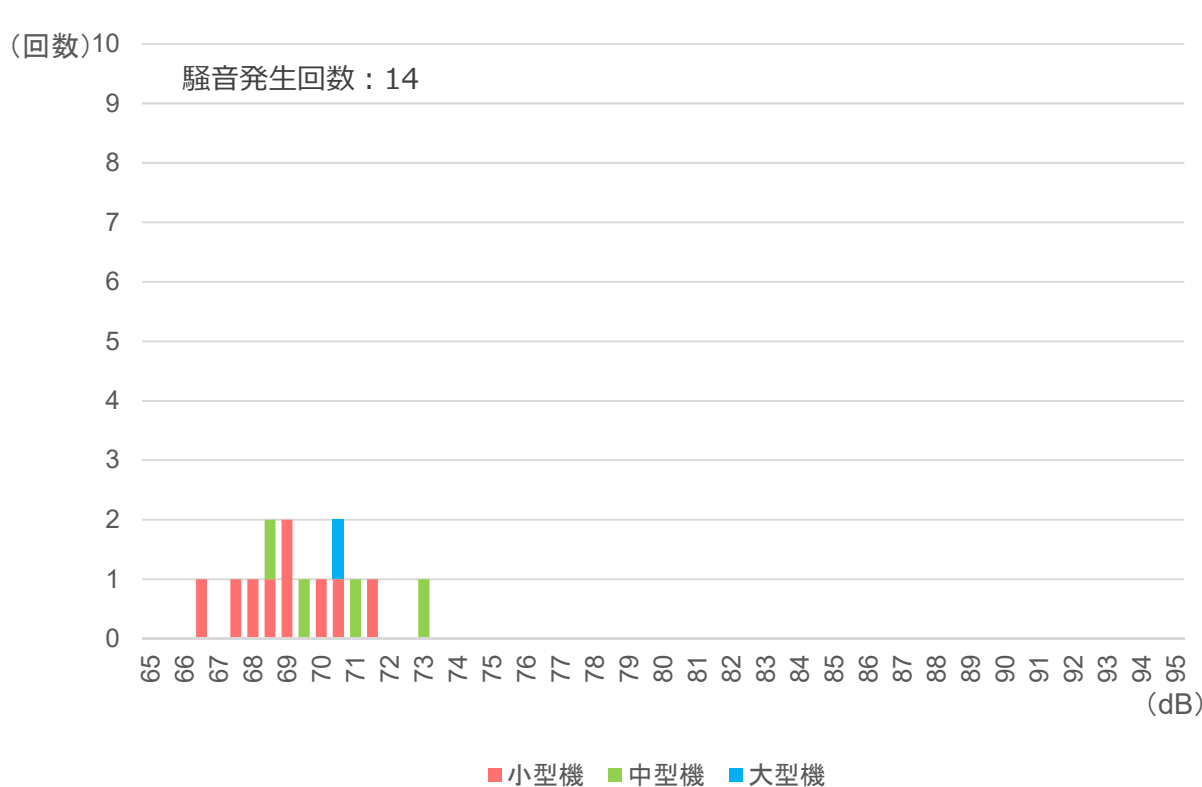
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西向き離陸機の音を測定。
- ・A滑走路着陸経路からは側方1.5km程度に位置しており、高度が低くなるにつれ、側方での音は小さくなるため、着陸機の音は測定されていない。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	70.9	—
中型機	71.0	—
小型機	69.4	—
全体	70.0	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	41.6	33.2

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

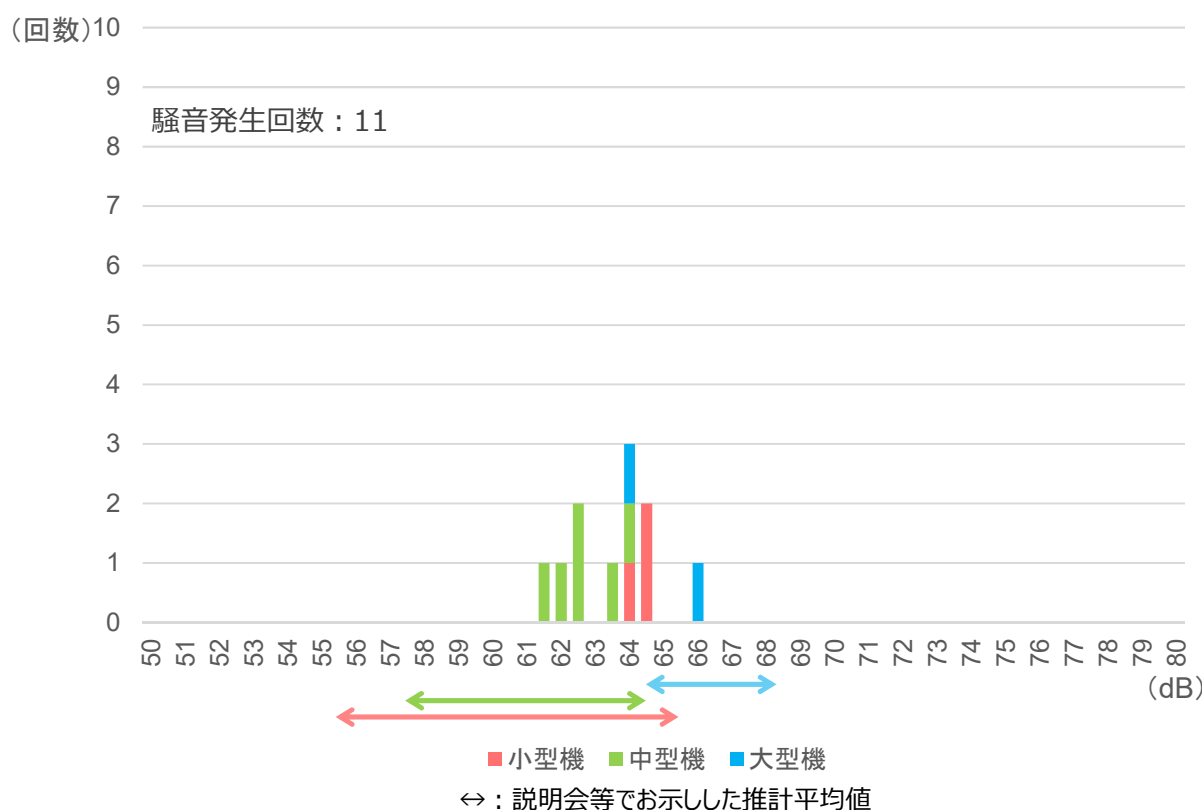
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

・A滑走路着陸経路の側方300m程度に位置する。高度約4,000～5,000ft（約1,200～1,500m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	65.2	68~65
中型機	62.9	64~58
小型機	64.6	65~56
全体	63.9	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	37.7	29.2

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

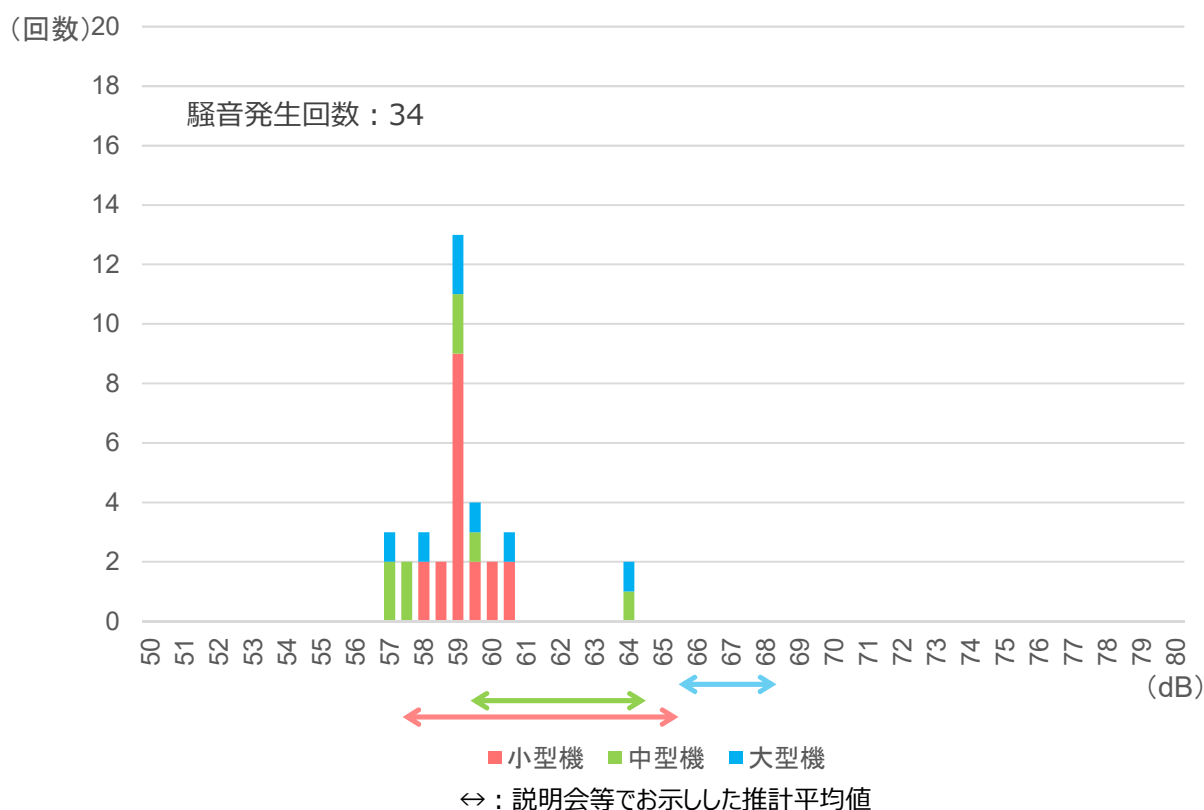
# 【短期測定結果(2022年12月)】北区立梅木小学校

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天着陸経路の側方1.4km程度に位置する。高度約4,000~4,500ft（約1,200~1,350m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	60.4	68~66
中型機	59.6	64~60
小型機	59.4	65~58
全体	59.6	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	38.5	30.1

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

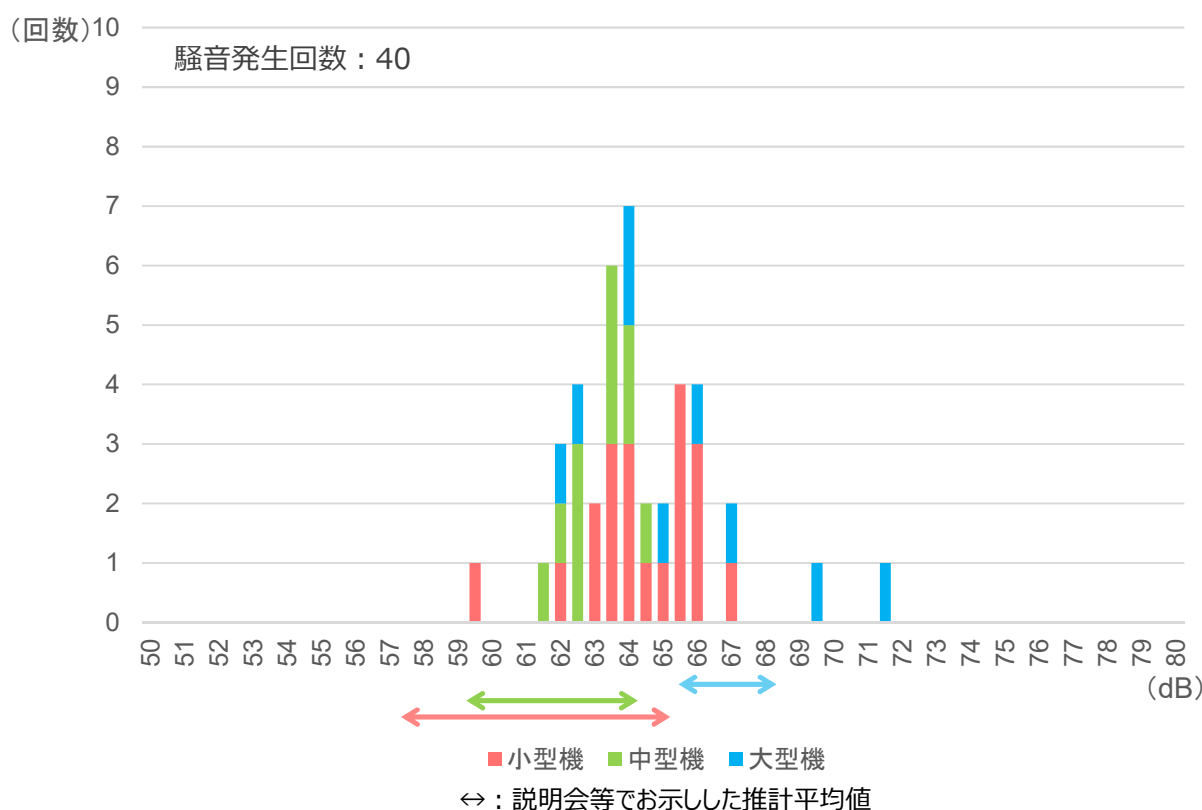
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約4,000～4,500ft（約1,200～1,350m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	67.0	68~66
中型機	63.4	64~60
小型機	64.9	65~58
全体	65.2	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	42.5	34.0

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

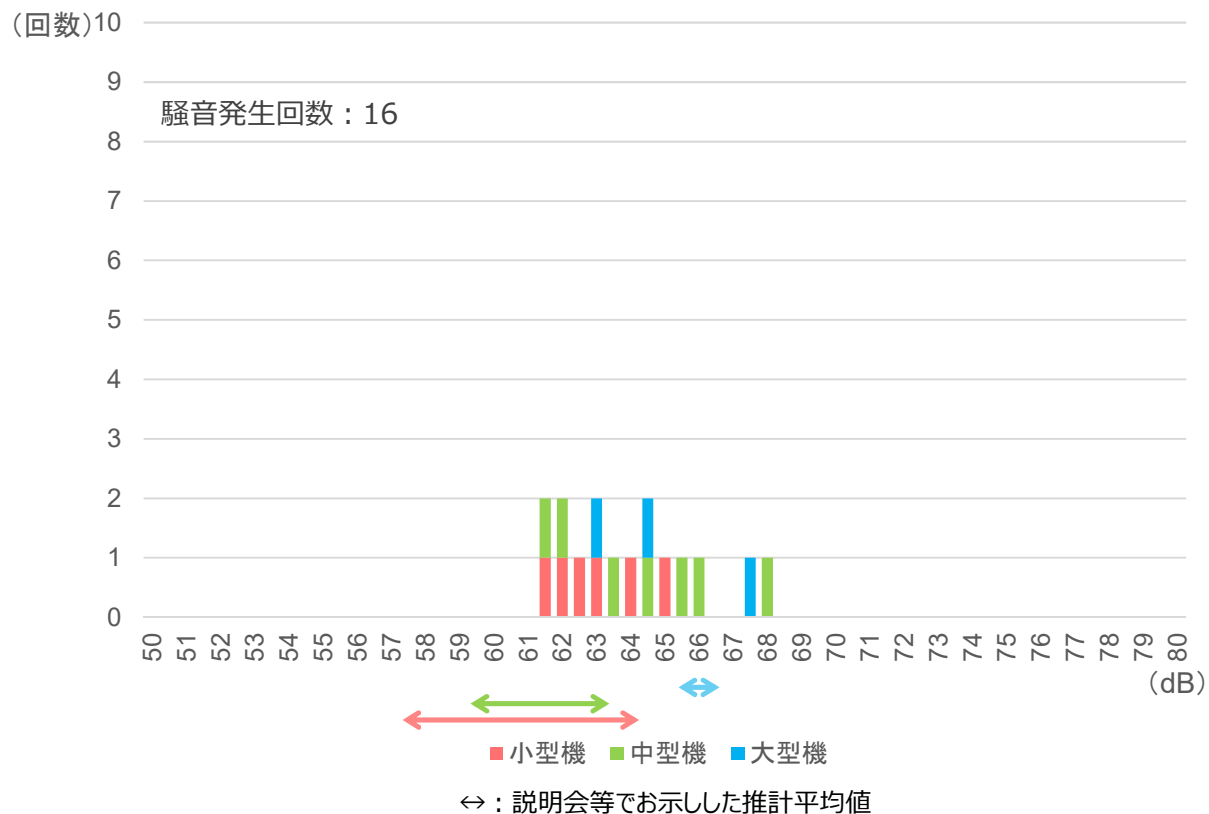
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約4,500ft（約1,350m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	65.6	66
中型機	65.3	63~60
小型機	63.4	64~58
全体	64.7	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

<b>Lden</b> ※2	12/17	平均
	38.8	30.3

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

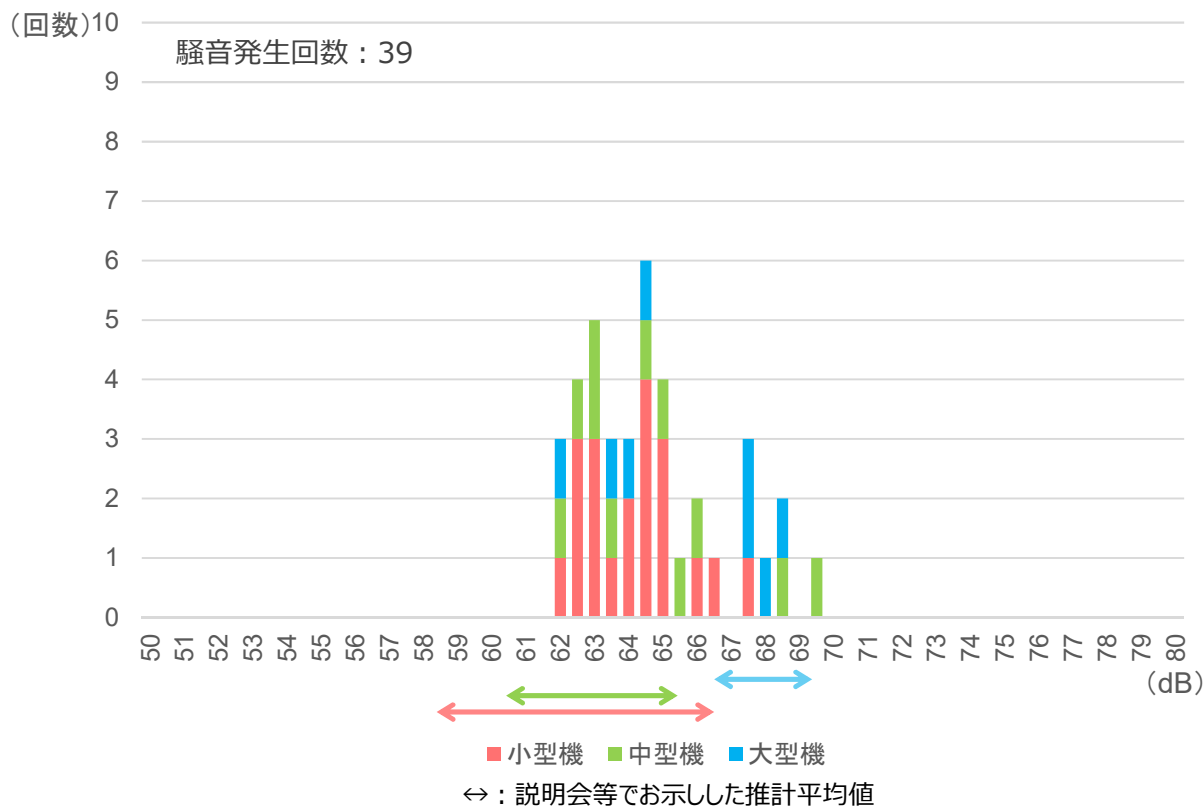
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天時着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約3,500~4,000ft（約1,050~1,200m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	66.5	69~67
中型機	65.7	65~61
小型機	64.6	66~59
全体	65.4	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	44.1	35.7

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

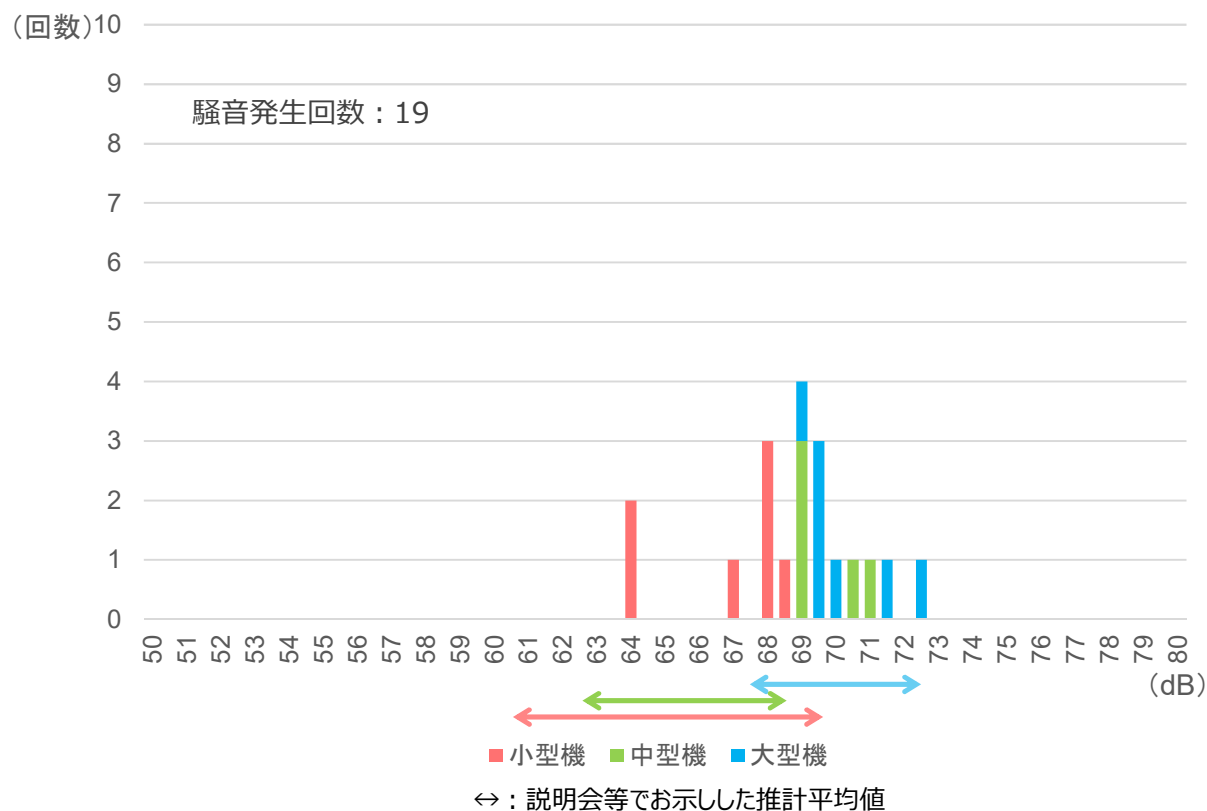
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路着陸経路の側方500m程度に位置する。高度約2,500~3,500ft(約750~1,050m)

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	70.6	72~68
中型機	70.1	68~63
小型機	67.3	69~61
全体	69.5	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

<b>Lden</b> ※2	12/17	平均
	45.9	37.5

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

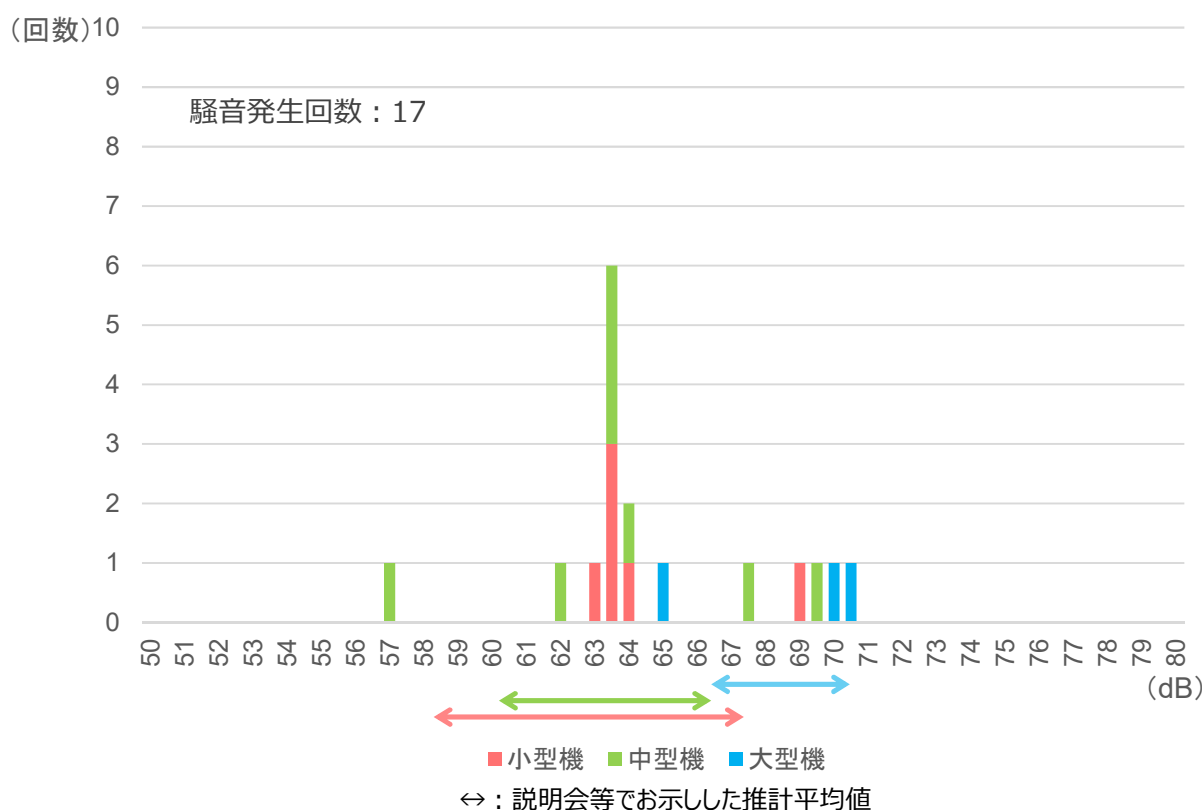


## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

・A滑走路着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約3,000~4,000ft (約900~1,200m)。

## ○実測値の分布

実測値 (各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値)  
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	69.2	70~67
中型機	65.3	66~61
小型機	65.1	67~59
全体	66.2	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

<b>Lden</b> ※2	12/17	平均
	41.1	32.6

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

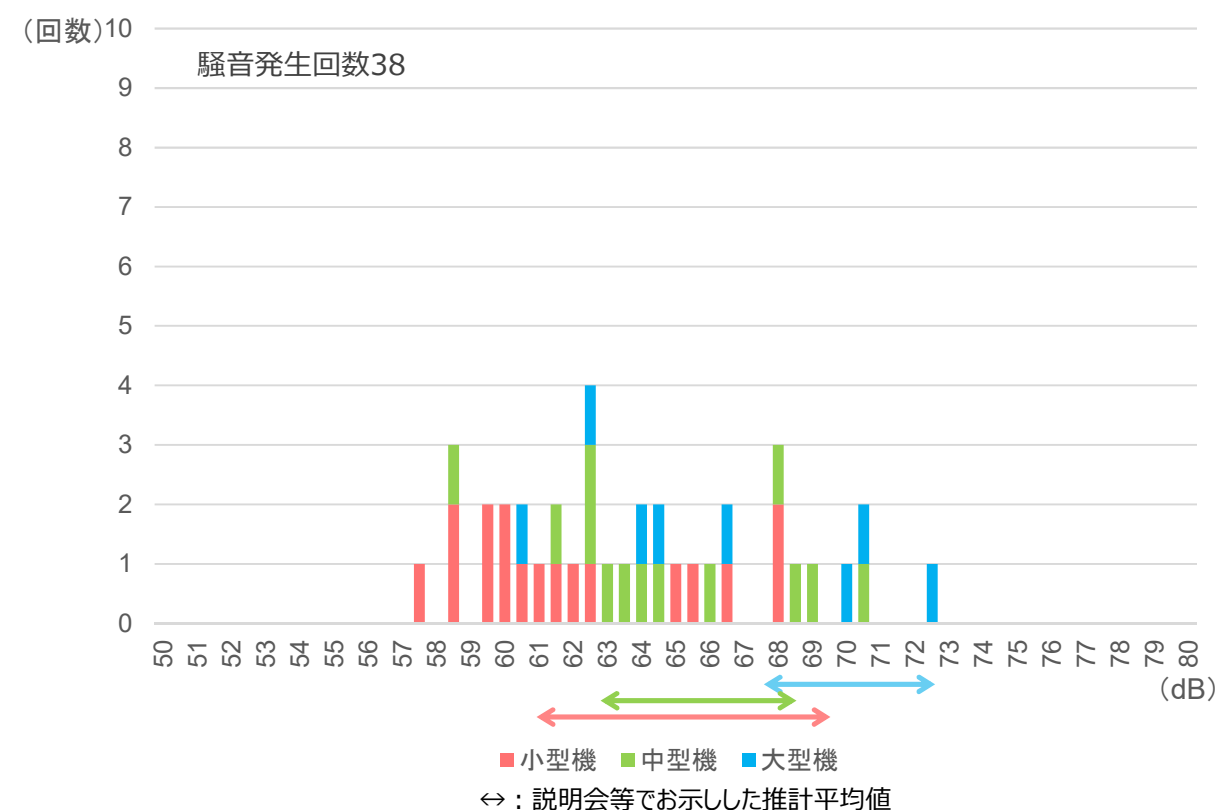
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路のほぼ直下、C滑走路着陸経路の側方1.5km程度に位置する。  
高度約2,500~3,500ft (約750~1,050m)。

## ○実測値の分布

実測値 (各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値)  
ごとにその発生回数をお示すると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	68.2	72~68
中型機	66.2	68~63
小型機	63.5	69~61
全体	65.8	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	43.4	35.0

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

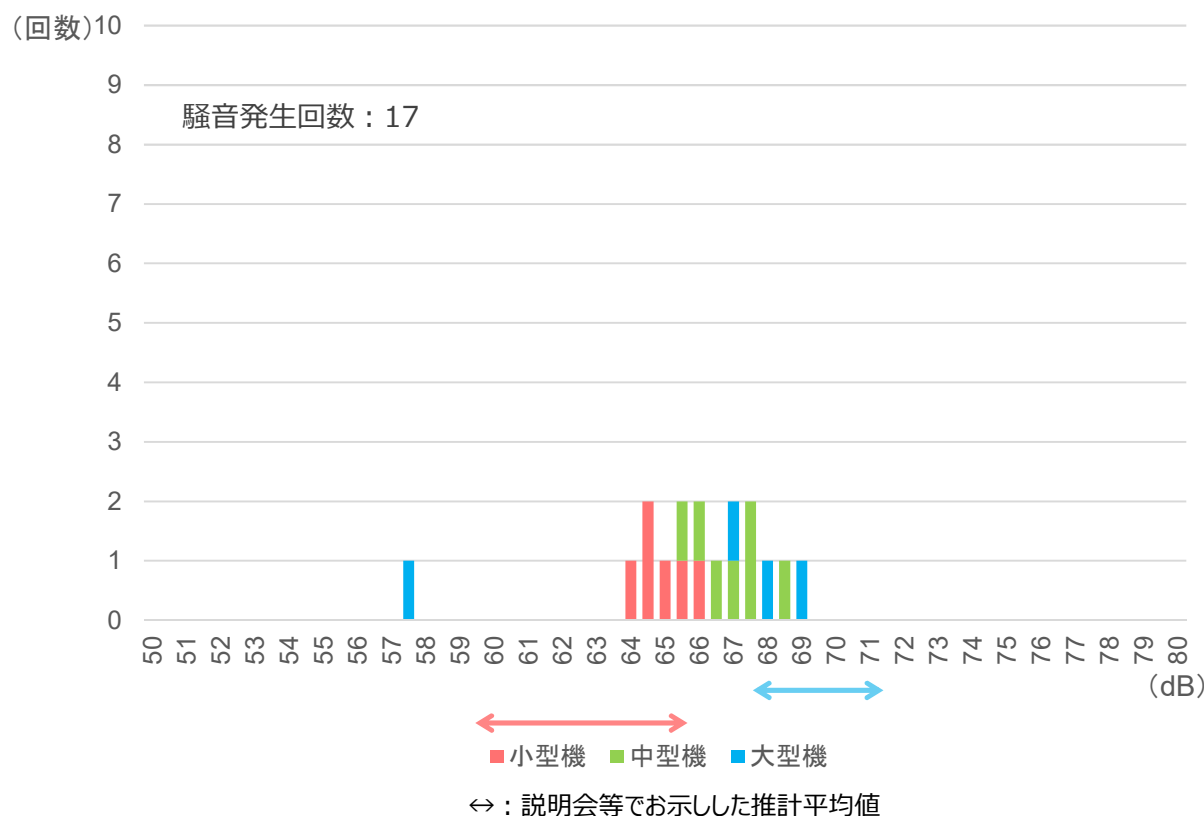
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路の側方900m程度に位置する。高度約2,000ft（約600m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	67.1	71~68
中型機	67.3	—
小型機	65.1	65~60
全体	66.6	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

<b>Lden</b> ※2	12/17	平均
	40.8	32.3

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

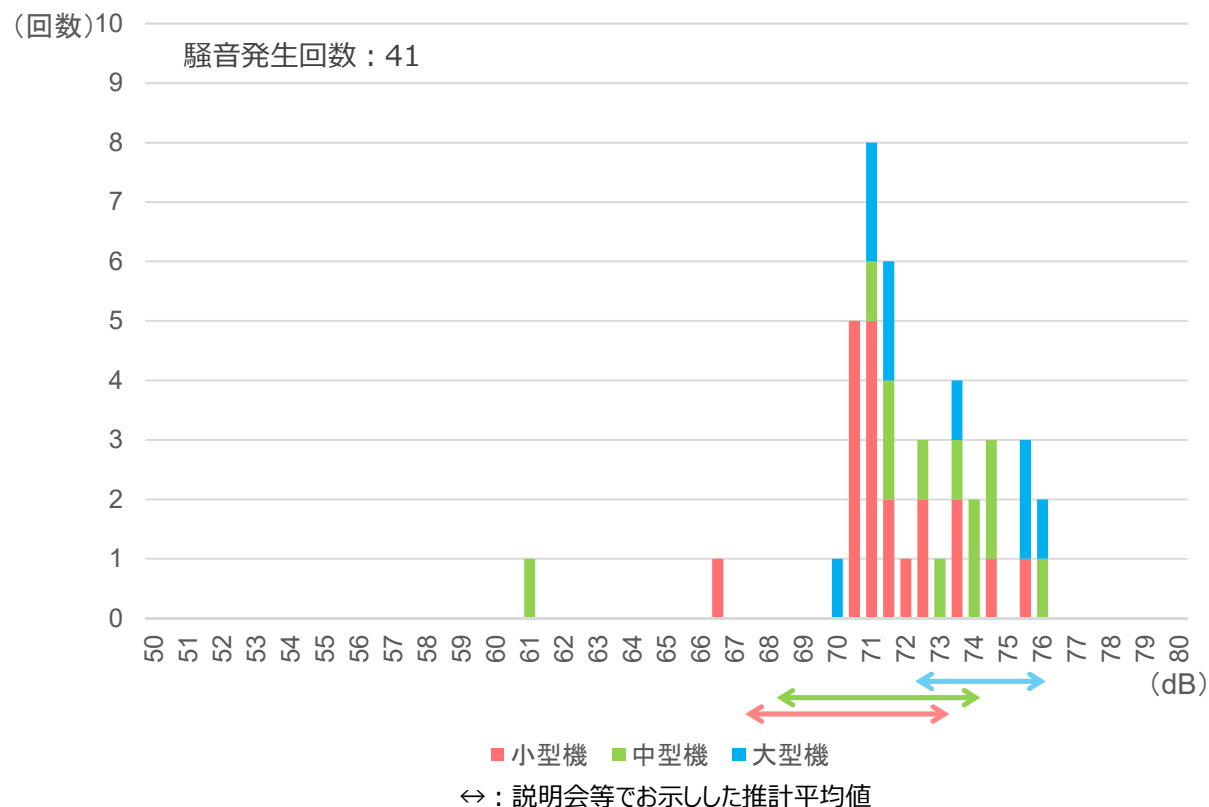
## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約1,500~2,000ft (約450~600m)。

## ○実測値の分布

実測値 (各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値)  
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

単位: dB



	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	73.6	76~73
中型機	73.4	74~69
小型機	72.1	73~68
全体	72.8	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	50.3	41.9

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

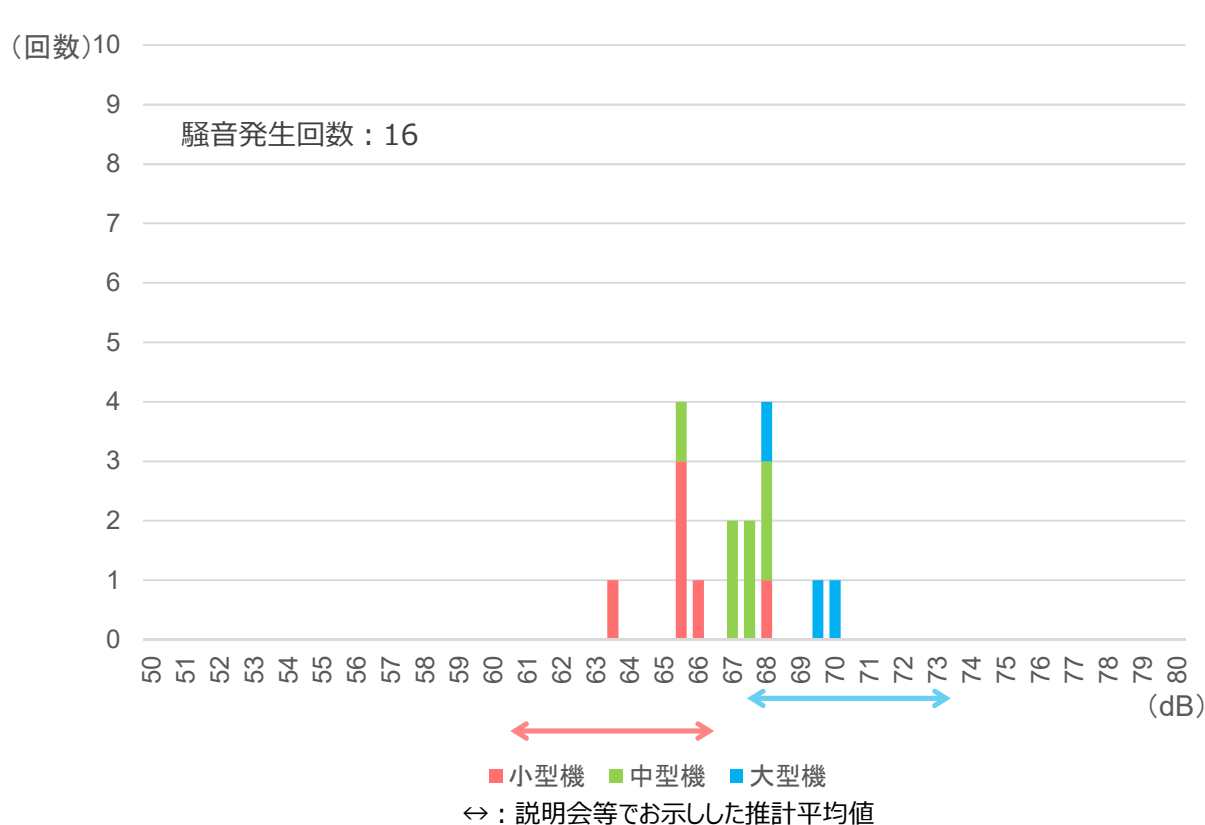
※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路の側方600m程度に位置する。高度約1,500ft（約450m）。

## ○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均	説明会等でお示した推計平均値 <sup>※1</sup>
大型機	69.5	73~68
中型機	67.5	—
小型機	66.1	66~61
全体	67.5	—

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

Lden <sup>※2</sup>	12/17	平均
	42.0	33.5

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている